

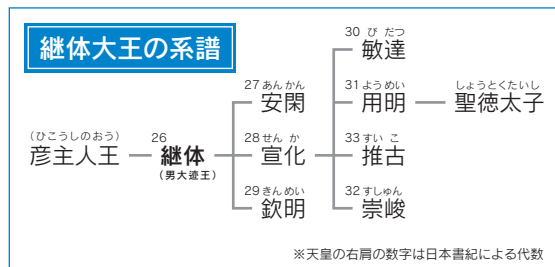


継体大王と河和田

来年は、福井県にゆかりのある継体大王が即位して1500周年の記念すべき年にあたります。継体大王は福井県内各地に多くの伝説を残しており、河和田地区にもいくつかの伝説・伝承が知られています。この機会に継体大王という視点から、故郷の歴史を振り返ってみましょう。

継体大王とは？

第26代の天皇です。応神天皇の五世の孫と伝えられます。『日本書紀』によると、生年は西暦450年で、没年は531年ですが、『古事記』は享年43歳としています。即位前は男大迹王（おおどのおう）と呼ばれていました。近江（滋賀県）に生まれ、幼少のおり父親（彦主人王）が亡くなったため、母（振媛）の故郷である越前（福井県）に移り、50年以上をこの地で過ごされました。そして507年に中央に迎えられ、河内（大阪府）樟葉宮で即位されています。継体天皇の没後は、子どもがそれぞれ天皇として即位し、孫である用明天皇（第31代）の子が、かの有名な聖徳太子です。



継体伝承を考える

越前国（福井県）には継体大王に関する伝承が各地に残されています。鯖江での継体伝承について、正徳2年（1712）成立の『帰雁記』には「刀那の神社というは戸の口のことなり。尾花の森といふ。是は継体天皇の御女茨田皇女の住給ひし御跡といへり。其辺を河和田の郷といふは、此御旧跡とかや」とあるように、古くから河和田に継体大王の伝説・伝承が残されていたことがわかります。

河和田地区に残る継体大王の足跡



その1 越前漆器にまつわる伝説

男大迹王が河和田の郷へ視察の
おり、冠を壊してしまわれました。
片山の漆塗り職人がこれを修理
し、「三つ組み椀」を添えて献上
したところ大変喜ばれ、「片山椀」
と命名され、これが今日の越前漆
器へ発展したとされています。

その2 桜にまつわる伝説

上河内町に古くから地
元の人々に愛され続けて
きた「上河内の薄墨桜」があります。毎年4月
中頃に墨色を帯びた見事な花を咲かせます。地
元には、男大迹王が上河内の山の中に桜を植え
たという伝説があり、現在ある薄墨桜がその孫
桜といわれ、市指定文化財となっています。



その3 茨田姫(まんだひめ)にまつわる伝説

茨田姫は、継体大王の皇女とされていますが、その茨田姫が住んでいた場所が尾花町に残っています。尾花の裏山に「天王」と呼ばれる地籍があり、明治20年に地元の人がここで大きな石室を掘り当て、古い土器や刀剣、勾玉を発見したそうです。ここが茨田姫の古墳墓だと伝えられています。



その4 三社森の話

尾花町と沢町の間にある「三社森」は茨田姫をお祀りした刀那神社があったところ。ここを汚したりすると、暴風雨になったと伝えられています。そこに建てられていた石碑は古くなったので、近年建て替えられました。



その5 河内桃の話

上河内では、古くから桃の木が栽培され、「河内桃」として各地に売り歩いていたと伝えられ、素朴な「河内桃の唄」も残されています。男大迹王が河和田の郷へご視察の折、この河内桃をご所望され、村人が献上したところ、ことのほか喜ばれました。そして自らこの桃を取ろうとされその折、冠を落とされ、それを漆職人が修理した、との伝説が残っています。



◆「鯖江継体の会」入会のご案内◆

継体大王について調査研究し、理解と愛着を高めることを目的とし、「鯖江継体の会」が設立されました。継体大王について興味や関心のある人は、どなたでも入会できます（入会金は不要です）。当面は、県内の継体奉賛団体と歩調を合わせ、活動していきます。事務局は河和田公民館（河和田町19-6-1、☎65-0403）です。

継体大王と越の国 継体大王の謎に迫る

日時 8月6日(日) 午前9時～
場所 嚮陽会館 ☎52-5789
入場料 前売1,800円 当日2,000円
(シンポジウム資料、越の国古代観光パンフ付)

継体天皇が“越の国”から大王(天皇)に即位した理由、当時の政治動向、継体大王の時代の朝鮮半島との交流などを考古学や古代史学の第一線の研究者が多角的に探ります。

記念講演会 午前9時30分

「継体天皇即位の歴史的背景」

京都教育大学教授 和田 萃 氏

講師研究活動

『古事記』や『日本書紀』などの史料および地中から発見される木簡を用いて3～8世紀の日本古代史の研究を行っている。歴史地理学や民俗学を用いた総合した古代学と言ふべき立場から、日本古代の思想や文化を解明している。

記念コンサート 午前11時

～悠久なる胡弓の調べ～

越中八尾おわら風の盆 胡弓奏者 若林美智子 氏

基調報告 1 午後1時

「古墳からみた

継体朝の成立とヤマトの王統」

奈良大学教授 白石太一郎 氏

基調報告 2 午後1時45分

「継体期の朝鮮半島」

慶北大学副教授 朴 天秀 氏

基調報告 3 午後2時30分

「継体期の対外交渉」

滋賀県立大学教授 田中 俊明 氏

基調報告 4 午後3時15分

「継体伝承地の古墳」

朝倉氏遺跡資料館館長 青木 豊昭 氏

主催 越の国ルネッサンス実行委員会（福井テレビ内）☎090-8965-9059